

# 再生可能エネルギーと地域の自立

原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟副会長 佐藤 彌右衛門

## 会津電力は地域還元

### 自治体、地元企業が出資

昨年の12月2日、3日に開催された第25回全国建設研究・交流集会で、「再生可能エネルギーと地域の自立」と題して記念講演を行なった佐藤彌右衛門さん（原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟副会長）のお話を紹介します。佐藤さんは福島県喜多方市にある大和川酒造店の会長でもあります。福島第一原発事故後、それまで酒造で村おこしに参加してきた飯館村の被害を目の当たりにし、原発や化石燃料に頼らず、地域の資源を活用したエネルギーで地域を自立させようと、2013年8月、仲間とともに会津電力株式会社を立ち上げました。（見出し・文責とも編集部）



佐藤さん

会津電力株式会社は地域貢献の会社しようということと、会社の形態は協同組合でも良かったのですが、意思決定のスピードが速い株式会社としました。株式会社でも資

本を公共的な人たちに持つてもらえばよいと、喜多方市、磐梯町、猪苗代町、西会津町、北塩原村、三島町、只見町、昭和村の8市町村が出資しています。地元ではスポーツ用品のゼビオホールディングスとスーパーのリオンドールという会

社が出資しています。他にゼラルのガソリンスタンドを営んでいる社長が、もう時代は再エネだ、ペレットやチップあるいは薪ストーブなどへ切り替えていくことを一緒にやろうと共感をいただき出資しています。



中央土地改良区第4 太陽光発電所（会津坂下町）

提供しているという意味で、地元のお金を集めているので、地元に戻すのが一番いい

わけです。それによって地元の企業が収益を上げて、また地元に戻されるということとです。どこの金融機関の窓口も地元のために書いてあります。今こそその時だ

### 分散型発電が大切

#### 公共施設の上にパネル

手の指が5色になった会社のロゴマークは緑色が木質バイオマス、赤が太陽光、水色が水力、土色が地熱、空色が風力で、再生可能エネルギーを表しています。図のような地域循環の中に私たちの会社があります。公共的な株式会社

社として、ただ儲けるのではなく地域に還元しています。自治体の中に再生可能エネルギーはありませんでした。2018年3月の時点で約70の個人・企業が出資してくれています。

の頃、再エネをどうやるのか分からなかった。それでは私たちが先にやるから出資してくれ、そして自治体の公共施設の上に太陽光パネルを貼ろうということ。自治体と一緒に、土地改良区の水路の脇や高齢者福祉センターの上などに設置してきました。一極で大きくやっていると北海道のように全部だめになります。分散型でやることでいざというときに地域で使えます。会津電力グループの太陽光発電所は会津地方に62カ所、中通り（二本松市、三春町、郡山市など）が18カ所、そして協力会社としては飯館村（飯館電力）に50カ所あります。

地域の活性化に再生可能エネルギーがどうつながるかという事です。みなさんの故郷もそうだが、電力会社に自分たちの資源を収奪されています。会津地方は千葉県と同じくらい面積が広がって喜多方市、会津若松市、それと15の町村があります。喜多方市の行政予算が年間約250億円です。自治率とよまいますが、250億円あっても地元から上がる税収は50億円しかありません。総務省から交付金をうけてやっとならしてはいます。17市町村の行政予算を合わせると年間1000億円に満た

ないのです。喜多方市の場合、GDPが1700億円です。会津若松市の行政予算が約450億円、GDPが4000億円です。会津地方全部合わせても8000億円に満たないのです。国に召し上げられてしまっ、戦後も召し上げられたまままで返ってきませんでした。福島県全体が原発事故の当

国に召し上げられてしまっ、戦後も召し上げられたまままで返ってきませんでした。福島県全体が原発事故の当

戦後、日本は復興して生活のインフラはどこにでもでき、飢えることはなくなりました。しかし、この先日本が原発事故を受けてどうするか、どんな国づくりをするのかということに、またものをど

### 返ってこない水利権

#### 5000万キロワット県外へ

実は水力発電だけで5000万キロワット発電していま

100万キロワットです。当

東北電力は仙台に売り上げ

原発事故で感じたのは、東電が潰れてしまつと廃炉ができ

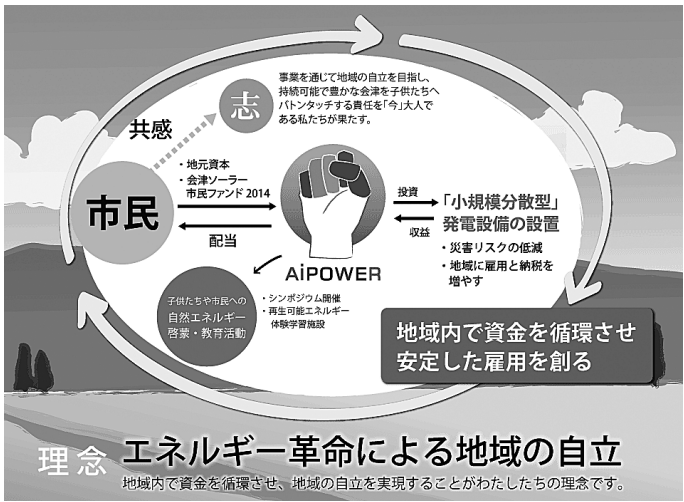
天然のダムがあって、昔は民間が川の水でも水力発電をやっています。戦争中に企業統合が出て、電力会社も

独占し、東北電力が河川の中に発電所をつくり、国の電源開発が田子倉ダムをつくらせて発電所を置いています。その

山の方はエネルギーの宝庫です。水、バイオマスもある、かつては山の木を十分に回していました。しかし工業製品

なくならず、潰れないように注入している。国は後ろで隠れている構図です。廃炉は技術的にたいへんだと思います。世界中の技術者、科学者に集まってくれ、こうい

### 理念 エネルギー革命による地域の自立



会津電力の理念の図解。中央の握りこぶしがロゴマークで、親指から小指にかけて順番に木質バイオマス、太陽光、水力、地熱、風力による発電を表す

### 再エネで地方を豊かに

#### 原発廃炉後の国作り

わけて、東邦銀行、会津信用金庫など5機関に出資してもらいました。あと個人の方々がいます。2018年3月の時点で約70の個人・企業が出資してくれています。

原発事故で感じたのは、東電が潰れてしまつと廃炉ができなくなりますが、潰れないように注入している。国は後ろで隠れている構図です。廃炉は技術的にたいへんだと思います。世界中の技術者、科学者に集まってくれ、こうい